

## 現代武道学科 履修モデル

※ 標記されている科目を修得すれば卒業や資格の要件を満たすということではない。  
 ※ 卒業単位や分類ごとの修得要件、資格要件を必ず『学生便覧』で確認すること。

### 武道応用展開系統（社会の安全・安心領域） 履修モデル

武道応用展開系統（社会の安全・安心領域） 履修モデル								卒業必修科目	
配当年次	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次前期	3年次後期	4年次前期	4年次後期	
科目名	基礎	導入演習	総合英語 A	総合英語 B	総合英語 C	総合英語 D			
		情報処理	キャリアプランニング I	キャリアプランニング II		キャリアプランニング III			
		体育系大学の基礎教養	学習基礎教養演習	仙台大学の専門教養演習 I		仙台大学の専門教養演習 II			
		教養展開科目（人文・社会・自然科学）							
		スポーツ心理学	体育原理	運動学（含運動方法学）	日本国憲法	スポーツ計量学	スポーツ史		
		社会の安全・安心概論 I	解剖・生理学						
		武道概論	社会の安全・安心概論 II						
			スポーツ指導の基礎						
			スポーツ社会学						
			スポーツ経営学						
	柔道 I	体カトレーニング							
		剣道 I							
		空手道							
		合気道							
		陸上競技/水泳/器械運動/バレーボール/テニス/卓球/バドミントン/サッカー/バスケットボール/ハンドボール/ラグビー/ダンス I /海浜実習/キャンプ/スキー/スケート							
発展			社会の安全・安心概論 III	社会の安全・安心概論 V	安全・安心関係法令概論 II	卒業研究 I	卒業研究 II		
			社会の安全・安心概論 IV	安全・安心関係法令概論 I	中国武術 II				
			応用武道実技 I	応用武道実技 II	武道実践実習（警備）				
				応用武道護衛					
				韓国伝統武道					
			中国武術 I						
			海外武道実習						
応用	社会調査法 I	社会調査法 II	社会統計学 I	社会統計学 II	警備ビジネス論	警備制度と国際社会			
					犯罪学	社会調査演習			
					社会調査実習				
成果目標	社会の安全・安心の観点からリスク管理のあり方、安全保障、警備制度の基礎的な知識を身につける		逮捕制圧術等の技術の修学と警察政策、消防制度・防災対策、警備保障の知識を身につける		警備保障のマネジメント、犯罪防止対策（防犯）、安全安心法制等の応用的な知識を身につける		各種の知識及び技能を総括する		

中高保健体育科教員免許状取得 履修モデル

						教職必修	1単位選択必修	選択科目
配当年次	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次前期	3年次後期	4年次前期	4年次後期
科目名	専門基礎	水泳	体カトレーニング	器械運動				
		陸上競技		サッカー/バスケットボール/ハンドボール/ラグビー				
		ダンス I		柔道 II / 剣道 II				
		柔道 I	剣道 I					
			空手道					
		テニス/バレーボール/バドミントン/卓球						
		海浜実習/キャンプ/スキー/スケート						
			体育原理	スポーツバイオメカニクス	スポーツ栄養学	スポーツ史		
	スポーツ心理学	スポーツ経営学	運動学 (含運動方法学)	日本国憲法				
	スポーツ社会学	解剖・生理学	運動生理学					
		スポーツ医学概論	運動障害救急法 (含実習)					
	応用	レクリエーション実技 I		衛生・公衆衛生学	体操 (含体づくり運動)	学校保健学	保健体育科教育論 III	
				教育の制度 A	新体操	教育方法論 A	保健体育科教育論 IV	
				教育の基礎理論 A	保健体育科教育論 I	保健体育科教育論 II	教育課程論	
					教育の心理	ソフトボール/野球		
					教育相談			
	教職		教職論 A		特別活動論	生徒指導論 A (含進路指導及びキャリア教育の理論及び方法)	教育実習 I	
						特別支援教育論 (児童生徒)	教育実習 III	
						「総合的な学習の時間」論	教育実習 IV	
						道徳教育論 (高: 選択、中: 必修)	教職実践演習 (中・高)	
					教職総合演習 教育実習 II			